

繊維補強セメント系複合材料の新しい利用法研究委員会（JCI-TC-104A） 第4回委員会議事録案

日 時：平成23年5月25日（水）15:00～17:30

場 所：JCI会議室

出席者：金子，国枝，金久保，栗橋，浅井，網野，伊藤，菊田，諏訪田，塩永，前田（信），
山野辺，前田（徳），永井，JCI井上

欠席者：石原，磯，岩波，斯波，瀬古，堀口，長井，平田，室賀，渡辺（敬称略）

資 料：

- 4-1 第4回委員会議事次第
- 4-2 第3回委員会議事録案
- 4-3 第4回幹事会議事録案
- 4-4-1 WG1に関する目次原案
- 4-4-2 文献調査一覧
- 4-5-1 性能評価WG 当面の活動方針
- 4-5-2 性能評価WG 第2回WG議事録案
- 4-6-1 環境対応WGメモ
- 4-6-2 コンクリート構造物の環境性能照査指針（土木学会）

議 事：

1. 委員長挨拶

金子委員長より，開会の挨拶があった。なお，東日本大震災での被害等に貢献できるような利用法が見つかることを期待したいとの発言があった。

2. 幹事会報告

4月18日に開催された幹事会議事録案が紹介された。なお，公益法人化に伴い，報告書等における参考文献の引用方法が厳格化されたことについて注意喚起があった。

3. WG報告

各WG主査から，WGの活動報告がなされた。主な内容は以下のとおり。

<WG1 新しい利用法>

- ・査読付き論文を中心に，文献調査収集は順調に行われており，整理方法に関しても，概ね了承された。
- ・既往の報告書との差別化を図ることを目的に，材料の変遷や利用法の変遷といった流れを重視し，それらから新しい利用法を探る方針とする。

<WG2 性能評価>

- ・長期性能の評価軸はひび割れ幅とし，それに強く影響を与える架橋則に関する調査を行っているとの報告があった。
- ・FRC，DFRCC，HPFRCCなどの特徴がわかるまとめ方を願いとするとともに，鉄筋の有無による違いについても留意して検討いただく。
- ・ひび割れの対象となる荷重を何にするか（e.g.地震力，自重），早急に詰める必要がある。
- ・設計に使用できる枠組み（精度はそれほど問わない）の構築を目指すとともに，ひび割れ幅に着目した部材設計をとおして新しい利用法の提言に繋げる方針とする。

<WG3 環境対応>

- ・有機繊維だけでなく，鋼繊維の情報も必要である．
- ・FRC のメリットを強調するようなシナリオの示し方とする．
- ・FRC によれば補修回数が減らせる点や，そもそもライフタイムそのものがコンクリートとは違うことを示す必要がある．
- ・従来までに想像されている FRC の環境負荷を低減する方法を整理し，新しい利用法の提言に繋げる方針とする．

幹事会議事録にもあるように，各 WG のロードマップを至急整理し，研究委員会に提示することとした．

4. 次回開催予定

未定（8月頃を予定）

以上